

令和 7 年度における主な事業について

1 公共交通活性化事業 51,254 千円

(1) バス運転手体験事業 (1,000 千円)

担い手不足が続いているバス運転手の確保に向けて、バス事業者や自動車学校と連携し、バスの運転体験やバス運転手の業務内容、魅力を紹介するイベントを開催する。

(2) 公共交通でこどもとおでかけ事業 (1,000 千円)

幼少期から公共交通の大切さや魅力に触れる機会を提供することで、こどもたちが生活のシーンに応じて公共交通を適切に利用できるように習慣作りに取り組む。

交通事業者と連携した路線バスの整備工場見学ツアーや、乗りかた教室等を実施する。

(3) 雨晴駅展望デッキ「(仮称) AMAHARASHI VIEW」整備事業 (24,000 千円)

海越しに能登半島や立山連峰が望める雨晴駅の立地を活かし、ホームに併設した展望デッキを整備する。



2 万葉線関連事業 100,079 千円

万葉線の利用促進や安全・安心な運行に向けて、レールの更新や車両の修繕等の快適性や安全性を高めるための支援を行う。

(1) 万葉線再生事業 (34,987 千円)

レール重軌条化や踏切制御機器の更新等に係る支援を行う。

(2) 万葉線利用促進事業〈連携事業〉(65,092 千円)

車両検査、安全対策、I C の保守、老朽化した鉄軌道施設や車両の更新に係る調査・検討を行う。

3 新高岡駅利用促進事業 8,847 千円

(1) 新高岡駅利用促進事業 (6,500 千円)

・ 高速バス・旅行商品等海外販路開拓事業

新たなインバウンドの獲得を目指し、入国前に当市発の高速バスや市内観光施設等のチケットを購入できるよう、海外の旅行会社を通じた販路を確保するとともに、本市の魅力やパッケージ商品の P R を行う。

・ 新幹線を活用した誘客・送客促進事業

新幹線まちづくり推進高岡市民会議等と連携した交流拡大の取り組みを行う。

(2) 新幹線通学定期券購入補助金 (2,200 千円)

北陸新幹線の活用による本市の定住人口の増加を図るため、北陸新幹線を利用して通学する学生に対して、通学定期券の購入費用の一部を補助する。



(W7 系)

4 市民協働型地域交通システム推進事業 13,500 千円

地域が主体となった市民協働型地域交通システムの導入に取り組む地域に対し、導入に向けた調査・検討から実証運行及び本格運行までの、段階に応じた支援を行う。

5 城端線・氷見線活性化調査等事業 10,560 千円

県、沿線市とともに城端線・氷見線の再構築に向けた調査を実施する。